



6月定例市議会

休日応急診療所・財政調整 基金条例など決まる

六月定例市議会が、六月十八日から十二日間にわたって開かれました。今定例会では「五十九年度一般会計補正予算案」や「休日応急診療所に関する条例案」などが提出され、慎重に審議された結果、いずれも原案通り可決されて閉会しました。

財政調整基金条例 を一部改正

「財政調整基金に関する条例の一部改正」が、今定例会で承認されました。
毎年度積立している財政調整基金は、五十九年五月末で十一億一千六百六十三万五千円。従来の条例では著しい経済変動や災害時などのとき以外は基金を取りくずしができないようになっていました。そこで今回条例を一部改正して、「その他必要やむを得ない理由により生じた経費の財源にあてるとき」を加え

たものです。

これにより財政調整基金は、年度間調整を図りながら健全な市政の確立を図るものです。

市立休日応急診療所 を八月から開設

「市立休日応急診療所に関する条例」が、今定例会で承認され、八月から開設することになりました。
詳しい内容については、四角をご覧ください。

森林に火入れ するときは許可が必要

「火入れに関する条例」が制定されました。
これは、市内の森林または森林の周囲一キロメートルの範囲にある土地で、造林のための地ごしらえや害虫駆除のため、「火入れ」をするときは市長の許可が必要となります。
なお、この許可申請など詳しいことについては農林課林務係へお問い合わせください。
☎49-3111内線291

固定資産評価審査委員 を再任

任期の満了となる次の二委員の後任案件が今定例会で承認され、それぞれ再任となりました。
▽固定資産評価審査委員会委員
伊藤 清治氏 (64歳・字長木川南)
▽監査委員
佐藤 善悦氏 (64歳・川口字横岩岱)

花岡公民館 改築用地を取得

花岡公民館の改築用地の取得案件が承認されました。
これは、老朽化の著しい花岡公民館を改築するためには現在地では狭いため、花岡保育所の隣接地を取得するものです。
・土地所有者
同和鉱業株式会社

- 取得する土地
花岡町字前田102番の1
5,789.28㎡
ほか3筆
- 取得価格
52,537,716円



建物の工事請負契約 を議決

▽市営第2獅子ヶ森住宅 建設建物の工事
概要・中層耐火構造で地上三階地下一階の建物を二棟二十四戸、延床面積千九百二十八平方メートル
施工業者・ダイユウハウス(株)
契約金額・二億七千六十万円
▽市立下川沿中学校 改築建物の工事
概要・鉄筋コンクリート造り三階建て、延床面積二千八百八十二平方メートル
施工業者・丸山建設(株)
契約金額・二億九千万円

行政報告

6月定例市議会が招集された6月18日、高山市長が行政報告をしました。その中から主なものをお伝えします。

◆稲作の生育状況について

今年、豪雪と春先の低温により雪消えが遅く、播種作業の遅れが心配されましたが、例年より1週間遅れただけで作業が終了しました。また田植えは例年よりも5日位遅れましたが、幸い好天に恵まれて平年並みで終わっており、現在は順調な生育をしています。

♥水田利用再編第3期対策について

水田利用再編対策の本年度転作目標面積627haについては、転作定着化推進加算制度の対象となるよう協力をお願いしてきました。その結果、大豆などの特定作物が59.4%、ホップなどの永年性作物が2.2%、野菜などの一般作物24.4%、他用途米作付面積10%などが見込まれており、目標面積の102%、640haとなっています。

◆岩神沢生活環境保全林事業について

57年度に国から事業の指定を受けた岩神沢生活環境保全林事業は、県営工事として3ヵ年計画、3億円で事業を進めています。

区域は、岩神貯水池の南側、一万本桜の植栽地を中心に97haが対象です。内容は、桜の保護育成やお花見広場、散策観賞用歩道、湿生植物園、香木園、紅葉木植栽、歩くスキーコース、自然観察路などが設置されることになっています。

◆勤労身体障害者教養文化体育施設

の概要について

雇用促進事業団が、今年度事業として中央公民館敷地の一部に勤労身体障害者教養文化体育施設を建設することになりました。この施設は、心身障害者の健康

増進や教養文化の向上を図り、社会生活への基盤づくりの一翼を担うものとして建設されるものです。事業は、建物本工事として3億円を限度としており、外構工事など付帯施設については、当市が行うことにしています。敷地面積は3,100㎡で、建物の概要は体育施設が800㎡、研修室や談話室などの教養文化施設が700㎡の鉄筋コンクリート造平屋建てで、9月着工、59年3月末完成の予定となっています。

建設後の管理運営については、事業団から秋田県に、さらに当市が再委託を受けるという形になっており、実質的には当市の所管施設として恒久的に自主運営を図っていくものです。そのため来年度全面改築を予定している中央公民館施設との有機的利用が図られるよう事業団と協議を進めています。